

# 新たな学習環境を考える 「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業とは？

主催：CIEC 北海道支部 札幌学院大学 FD センター  
 日時：2014年5月24日（土）13:00～15:00  
 会場：B201 教室 （事前の申し込みは不要です）  
 対象：学内外問わず、どなたでもご参加いただけます



昨年度末、A～B館2階に新たな学びの環境「アクティブ・ラーニング教室」ができ、多くの授業で利用されています。今後、さまざまな試行の中から、学生の能力を引き出すいくつかの授業実践モデル、ノウハウが生まれることが期待されます。FDセンターでは、研究会等を通じてこれをみなさまと共有する機会を用意したいと考えております。

さて、一昨年の中教育審議会答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～』では、次のように、これからの時代が求める人材を育成するためには授業スタイルを「アクティブ・ラーニング」に転換することが必要であると指摘しています。

従来のような知識の伝達・注入を中心とした授業から、教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換が必要である。

「アクティブ・ラーニング」とは、課題発見・解決学習、体験学習、調査学習等を意味しますが、教室内でのグループ討議、プレゼンテーション、相互評価等も有効な方法とされています。これを授業に取り入れることで、専門知識の定着やその応用的な活用を促すことはもちろん、汎用的技能の育成に有効とされています。つまり、学生の就業力を育成するという観点からも有用な授業スタイルとされています。

今回の研究会では小樽商科大学の「徹底的に学生を鍛えるしくみづくり」に学び、本学における「アクティブ・ラーニング」の展開について考えてみたいと思います。

## プログラム概要：

- 13:00～14:00 講演「小樽商科大学のアクティブ・ラーニング実践事例と課題」  
 大津 晶氏（小樽商科大学）
- 14:00～15:00 質疑応答

## 講演概要：

小樽商科大学は、これまで教育開発センターが中心となって推進してきた教育改善の成果ならびに「就職支援が不要なキャリア教育」を標榜して展開してきたキャリア教育の基本理念等を踏まえ、「徹底的に学生を鍛えるしくみづくり」と称して昨年度より「先端的ICTの活用と地域資源の活用によるアクティブ・ラーニング」のカリキュラム開発に着手した。本研究会では、主に平成25年度の取り組みとして、いくつかの属性の講義において試行的に行ったアクティブ・ラーニングの実践事例および効果の検証、さらにICT活用を軸とした教育環境の整備について報告する。

今回のFD研究会は、CIEC 北海道支部との共催です。CIEC 北海道支部は、教育・研究へのコンピュータ利用の在り方と可能性を考える学術研究団体 CIEC（コンピュータ利用教育学会）最初の支部として、2007年度に発足しました。北海道在住のCIEC 会員をメンバーとし、PCカンファレンス北海道実行委員を中心とした世話人が、同カンファレンスや支部研究会の企画を行っています。（CIEC 北海道支部のホームページより引用）